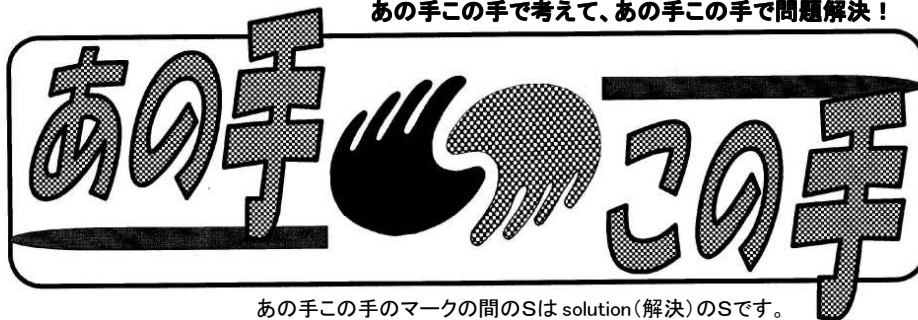


あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2011
7
月号



花ことばは「莊厳」。泉の森でも咲いてます。見つけてね

—ヤマユリ—

大和市民活動センター[拠点やまと] 第 48 号 2011 年 7 月 1 日発行



絵:「ゆめにむかうバス」 森田愛海(南林間小2年)

「あの手この手」の7,8,9月号の表紙絵は昨年の秋に開催された「やまと国際フレンド委員会(IFC)」主催の『第3回やまと国際アートフェスタ～わたしのゆめ～』で入賞した作品を掲載します。今号は IFC 賞の森田愛海さんの作品です。

----- 絵を通して、素敵な交流を -----

昨年10月にイオンモール大和で開催した「第3回やまと国際アートフェスタ」には、大和市内の小中学生の皆さんから、「わたしのゆめ」をテーマに 496 点の応募があり、将来の夢、理想の世界、未来など、子どもたちが描いた「ゆめ」であふれた素敵な展覧会になりました。年々応募数も増え、たくさんの来場者にもお越しいただけたことは、私たちにとっても本当に喜ばしいことです。

「絵を通して、素敵な交流ができれば・・・」 そんな想いで、今年も10月にイオンホールで開催予定です。今年のテーマは「笑顔のちから」。見ているだけで笑顔になれるような、そんな皆さんの力作をお待ちしています。

(やまと国際フレンド委員会(IFC)代表 長谷部美由紀さん)

*「あの手この手」は大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

<送付の際、同封されているご案内>

・第(43)回連続共育セミナー「映像とソーシャルメディアで地域の活性化」のお知らせ

誰でも自由に意見を出し合える選考会 5団体が応募しました

6/5(日)に市民活動推進補助金公開選考会を開催しました。

くめばえ>

活動をこれから始める、または、始めたばかりの団体に対する補助金。
(上限 5 万円)

社会福祉士の会「やまと」

認知症サポーター養成講座、サポーターフォローアップ講座を開催して、認知症に対する理解者をふやし、地域で安心して過ごすことができるための事業。

くはぐみ>

すでに活動をしている団体に、より活動を発展させるための補助金。(上限 20 万円)



NPO 法人旅めぐり証明書発行基金会

月見野遺跡群の「テンプレートつき概要書」を作成し、電子書籍としてネット配信。「つる舞の里歴史資料館」の見学者を増加させ、大和市民共通のアイデンティティ形成の基盤としての貴重な財産として認識する。



「まち歩きマップ」を作って、「つる舞の里」に見学者が訪れるようにしたらどうか。

NPO 法人たんぽぽ

「パン工房麦の香り」の事業内容の周知を行い、広く市民からの支援が得られるよう、ホームページの作成やリーフレットの作成等、広報事業を行う。



- ・作ったものを売るのではなく、売れるものを作る視点があってもよいのでは。
- ・「麦の香り」というネーミングがよいので、早く商標をとることをすすめます。
- ・高校生の昼食用に学校で販売したらどうか。



チーム ピース チャレンジャー

元児童労働者でストリートチルドレンだったアナンの記録映画の上映会を開催して、上映後に交流会を開催する。



東日本大震災被災者との連携をして、伝える工夫をしてほしい。



「センター」のある日ある時

6月1日(水)くもり

「昨日の FM やまとを聞いて、『大和いきいきクラブ』のパソコンクラブに入りたいのですが…」と、町田の男性から電話が入った。リスナーからの問い合わせがあったことはうれしいこと。我々スタッフも放送を通じて団体の活動を詳しく聴取できる。活動団体にとっては、番組を通して活動をアピールするチャンスです。



NPO 法人なんでもプラス地域ネット

ローカルな文化を地域のきずなにと、「酒まんじゅう」の伝承のための講習会を開催。その様子を DVD に記録して地区での試写会や公共施設への配布、希望者への販売を行う。



酒まんじゅうを「パン工房麦の香り」で販売したらどうですか。

応募した5団体すべての事業が補助金交付と決定しました。

協働事業への思いを発表



6/12(日)に協働事業提案発表会を開催しました。

次は担当課と打合せをして、7/10(日)の意見交換会に臨みます。

意見交換会は公開です。よりよい協働事業となるよう、多くの方の参加をお待ちしています。

市民提案型協働事業は4団体



月見野遺跡群の埋蔵文化財の発信と市民参画キャンペーン事業。

NPO 法人旅めぐり証明書発行基金会



小学校入学前に日本語と日本の生活習慣を学ぶプレスクール開設事業。

NPO 法人日本ペルー共生協会



食材を通じ大和と子どもを繋げる事業。

「子ども食育クッキング」
大和クッキングスクール



～地域の子どもの地域で育てる～子どもと子育て家庭応援事業。

NPO 法人ピコピコ

行政提案型協働事業は5団体

大和市民活動センター管理運営事業

市民活動課

拠点やまと

「新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて運営していきます。

ふくしの手 全員集合

健康福祉総務課

パパボラやまと

社会福祉法人 敬愛会

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ 想

「茶OH!」や「世話焼きさん」との交流を積み重ねていきます。

文化創造担い手育成事業

文化振興課

ドラマティックカンパニ yamato50

YAMATO イラストデザイン

コンペの運営に協力します。



6/17(金)に連続共育セミナー第 ④② 回を開催しました
「一つになろう日本 in 大和」

～1日も早い被災地の復興を願って～

ゲスト:(社)大和青年会議所の宇山 隆さん

「やってよかった」チャリティーイベント

宇山 隆さんは今回のチャリティーイベントの実行委員長。3/11(金)に東日本大震災が発生。「やまと市民まつり」が中止となり、下を向いてばかりじゃ、みんなして沈んでしまう。何とか大和の地から復興の応援をしたいと、5/15(日)にチャリティーイベントを開催。市民まつりでパフォーマンスを予定していたダンスチームやマーチングバンドのみなさんが、「発表の場があってよかった」と言ってくれ、義援金も73万円集まり、「ほんとうにやってよかった」と話された。

次回は

連続共育セミナー第 ④③ 回

「映像とソーシャルメディアで地域の活性化」

～活動記録を映像で配信しませんか～

日時:7月23日(土)15:00～17:00

場所:大和市民活動センター 会議室

ゲスト:森 康祐さん、山田幻太さん

(NPO 法人湘南市民メディアネットワーク)

市民活動もメディア広報する時代です。

メディアを活用して楽しく活動を紹介しましょう。

大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。
7月号(第48号)をお届けします。



←大和市民活動センターのシンボルツリー。大イチョウ。
2011年のある暑い日の夏の姿。

東日本大震災の報道で新聞などに岩手県の「陸前高田市」の文字があると、ぴっと反応する自分がいます。

陸前高田市産の海産物やジャムなどを大和駅西口プロムナードにあるアンテナショップ「とれたて大和」で扱っているということだけではなく、被災地支援のボランティアバスが定期的に大和市から陸前高田市を往復することになったということもあるからなのでしょうか。

毎日新聞 5/21(土) 付けに「陸前高田」の記事があるのを見つけてきました。

陸前高田市の名勝・高田松原で唯一あの大津波に耐えて残った一本の松の記事でした。新聞、テレビなどで、その「一本松」になってしまったこの松の写真や映像をご覧になっているかと思います。震災による地盤沈下で松の周囲に海水が押し寄せ地中に塩分が増え、松の葉の色が茶色くなってきてしまった。そこで、2008年に発足した「高田松原を守る会」はこの一本松に防腐剤を塗り、風よけネットを張るなど、保護活動をしているという記事でした。

震災時の「守る会」の会長は元中学校長の吉田さん。地域の人を高台に誘導中だったという目撃証言もある吉田さんは震災の日、津波にのまれて亡くなっている。

「一本松を見ると、私たちは負けずに頑張ろうという気になれる」「陸前高田市の復興のシンボルに」。「守る会」の小山芳弘さん、鈴木善久さんは力を込めて言うと言事がありました。

一本の木の力。

その木にその地に根ざしてきた人々の物語や歴史が込められていればいるほど、世代をつないでいく掛け替えのない大切な木になるのだということがわかります。

さて、この「お届け文」の紙面に[拠点やまと]メンバー・望月さんがスケッチしてくれた大和市民活動センター入り口のすぐ前にある夏の姿の大イチョウの絵を載せました。この大イチョウは大和市民活動センターのシンボルツリーです。樹齢推定 80 年。春夏秋冬、朝昼夜(あさひるよる)、しっかりと立ち、無言で私たちの活動、出来事を見つめ、それぞれの物語と歴史を刻んでいるのでしょう。これからもこの大イチョウを大切にしていかななくてはと思います。

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2011/06/30

[附記]今、市では市内に生息している樹木のなかから 5 本を選定し「名誉の木」として所有する方を表彰するという企画が進行中です。詳しくは市役所みどり公園課みどり推進担当まで。電話:046-260-5451